

第3学年 総合的な学習の時間学習指導案

授業者 3年1組 宮田 菜美子

1 単元名 「地域の案内人になろう」

2 単元について Plan

(1) 単元の目標

南長崎の地域について見学したり地域の方から話を聞いたりして、自分たちの暮らす地域について理解を深め、テーマに沿ってまとめて発表する。

(2) 単元の評価規準

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
◇知識を広げたり、深めたりすることができる。 ◇コミュニケーションの方法やツールを活用する技能を身に付けることができる。 ◇課題解決の方向性や価値を見出すことができる。	◇自ら課題を決定し、解決に向けた計画を立てることができる。 ◇資料を活用し、情報を集め、整理・分析を進めることができる。 ◇まとめや表現の方法を工夫することができる。	◇主体的・協働的に課題解決に取り組むことができる。 ◇互いのよさを認めながら、自分の考えを交えて伝えることができる。 ◇学んだことを積極的に発信することができる。

(3) 単元の設定理由

3年生は、総合的な学習の時間に初めて取り組む学年である。そのため、一学期から総合的な学習の時間の「学び方」を学級全体で理解しやすいように、地域にある有名な「トキワ荘」を題材として取り上げた。そこでは、実際に町へ出て調べたり、本で調べたり、トキワ荘に所縁のある漫画家の作品を読んだりして理解を深めていき、その後、自分でテーマを決めて一枚の模造紙にまとめ、発表するという学習を行った。

本単元では、題材は前単元より範囲を拡大して「南長崎3～5丁目」とし、多くの児童が暮らす地域とした。身近な地域について自ら課題を見出し、調べ、まとめ、発信するという「学び方」を3年生のうちに体験することが、今後の総合的な学習の時間に取り組む素地になると考える。

3 児童の実態

総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいる児童が多い。特に、地域に出て調べることを楽しみにしている。地域を歩いて発見したことや、地域の方の説明を聞いて分かったことを共有する時間には、全員の児童が発言することができる。一方、学んできたことを整理・分類、分析してまとめるという作業は初めての経験のため、まだまだ一つ一つの工程を丁寧に指導する必要がある。

本単元では、学んできたことを整理・分類、分析してまとめる作業は二回目の経験となるため、思考の仕方のプロセスを分かりやすく提示して、児童が自主的に作業に取り組めるようにする。

4 授業づくりの工夫 Do

(1) 参加しやすい学習環境づくり

【学びのユニバーサルデザイン～14の視点】 ○本単元の重点項目

参加	①リレーションづくり		
	②ルールの明確化		
	③刺激量の調整		
	④場の構造化		
	⑤時間の構造化	○	学習の流れの提示
理解	⑥焦点化	○	ピラミッドチャート
	⑦展開の構造化		
	⑧スモールステップ化	○	町探検の様子をビデオで録画
	⑨視覚化	○	ウェビングマップ
	⑩身体性の活用		
	⑪共有化		
習得	⑫スパイラル化	○	計画的な授業展開
活用	⑬適用化	○	ポートフォリオファイルの活用
	⑭機能化	○	中間発表会の設定

(2) 考えを深める学習方略

【思考スキルと思考ツールの活用】 ○本単元の活用

思考スキル	思考ツール		思考スキル	思考ツール	
多面的に見る	X、Y、Wチャート くまで手チャート PMI		見通す	キャンディチャート フィッシュボーン KWL	
順序立てる	ステップチャート プロット図		抽象化する	ピラミッドチャート	
焦点化する	ピラミッドチャート	○	具体化する	該当なし	○
比較する	ベン図		応用する	該当なし	
分類する	ベン図、座標軸		推論する	キャンディチャート	
変化をとらえる	表、座標軸、 同心円チャート		広げてみる	ウェビングマップ	○
関係付ける	コンセプトマップ、表		構造化する	プロット図、バタフライチャート、フィッシュボーン、ピラミッドチャート	
関連付ける	コンセプトマップ				
変換する	該当なし				
理由付ける	クラゲチャート フィッシュボーン		要約する	ステップチャート	
			評価する	KWL、座標軸	

5 単元指導計画（26時間） Plan

	時	○主な学習活動	◇評価規準 【評価の観点】
①課題の設定	1・2	○「自分たちの地域」の自慢について考える。	◇主体的・協働的に課題解決に取り組むことができる。【主】
	3	○学習課題を決定し、調べ方、まとめ方について計画を立てる。	◇自ら課題を決定し、解決に向けた計画を立てることができる。【思判表】
②情報の収集と③整理・分析	4 ～ 13 情報収集・整理・分析	○南長崎3丁目北部、3丁目南部、4丁目、5丁目の見学に行き、地域のことを調べる。 ○椎の木むかし館や本で、地域のことを調べる。 ・見学中に知ったことを、昔の写真や地図で、さらに確かめる。	◇知識を広げたり、深めたりすることができる。【知技】 ◇課題解決の方向性や価値を見出すことができる。【知技】 ◇資料を活用し、情報を集め、整理・分析を進めることができる。【思判表】
④まとめ・表現	14 ～ 17	○各自の発表テーマに合わせて、情報をまとめる。 16 2組本時	◇コミュニケーションの方法やツールを活用する技能を身に付けることができる。【知技】
	18 ～ 22	○発表に使う模造紙を作成する。 19 1組本時	◇まとめや表現の方法を工夫することができる。 【思判表】
	23 ～ 24	○グループになって発表し、互いに良さと改善点を見つけ、学び合う。	◇互いのよさを認めながら、自分の考えを交えて伝えることができる。【主】 ◇まとめや表現の方法を工夫することができる。【思判表】
	25	○2年生にむけて発表する。	◇学んだことを積極的に発信することができる。【主】
	26	○「地域の案内人になろう」の学習で気付いたこと、発見したこと、広げたり深めたりしたこと、自分たちの思いなどを振り返る。	

6 本時の学習（19／26時間）

（1）ねらい

○2年生への発表に向けて、必要な情報を選び工夫して模造紙にまとめることができる。

（2）展開

過程	学習活動	○指導上の留意点 ◇評価基準【評価の観点】
ふれる・つかむ（5）	1 本時の学習内容を確認する。 ○本時が単元全体のどの時間に当たるのか確認する。 ○めあての確認をする。 発表に使うための模造紙をポイントに気をつけて工夫して（下書きを）書く。	○単元の流れを掲示し、見通しがもてるようにする。 ○めあてを確認し、本時は下書きを作成するが全て終わらなくてもよいし、全て終わったら清書に進んでもよいと、作業のスピードが不揃いになることを認識させる。
かんがえる・ひろげる（35）	2 模造紙の下書きを作成する。 ○前単元で自分たちが考えたポイントを振り返る。 ・重要な言葉だけ書く・写真や絵を入れる ・工夫した題名をつける・小見出しを入れる ・字は大きく丁寧に書く・色づかいを工夫する ・名前を書く ○下書きを作成する。 ・B4サイズの4枚の紙に書く ↓ ・床に並べて確認 ↓ ・加除訂正 ↓ ・清書	○一つずつ思い出させ、掲示していく。 ○模造紙に使用できる写真は廊下に掲示しておき、後日印刷して渡すことを伝える。 ○適宜友達と相談したりアドバイスしたりしてよいことにする。 ○廊下に出て写真を選んだり、黒板の前に出て下書きを並べたりすることは自由に行ってよいことを確認する。 ◇まとめや表現の方法を工夫することができる。 【思考力、判断力、表現力】
まとめる・いかす（5）	3 次時の活動を確認する ○作業の進捗状況を確認する。 ・下書き作成中 ・下書き終了 ・清書作成中 ○感想を交流して、活動をふりかえる。 ・作業中に困ったこと、悩んでいること ・工夫したこと、上手くできたこと	○挙手させて、だいたい的人数を把握し、次回以降の学習の流れを伝える。 ○ポイントに焦点化して子どもどうしのアドバイスを促す。 ○清書が完成した段階で、自己評価を行うことを確認する。

(3) 板書計画

地域の案内人になろう		発表に使うための模造紙を「ポイント」に気をつけて工夫して（下書きを）書く。	〈地域の写真〉 <table border="1"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr> <tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td></td></tr> </table> (廊下掲示)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		12	13	14		15	16	17		18	19	20	
1	2	3	4																								
5	6	7	8																								
9	10	11																									
12	13	14																									
15	16	17																									
18	19	20																									
〈学習の流れ〉 1 ウェビングマップ 2 ピラミッドチャート 3 情報の集約	〈学習の流れ〉 4 レイアウト 5 下書き 6 清書	〈ポイント〉 ・重要な言葉だけ書く ・写真や絵を入れる ・工夫した題名をつける ・小見出しを入れる ・字は大きく丁寧に書く ・色づかいを工夫する ・名前を書く																									

(4) 課題設定の判断基準表（ルーブリック） ☒ Check

観 点	思考力、判断力、表現力等	授業者が想定する具体的な活動状況
レ ベ ル 3	自ら集めた情報を目的に合わせて取捨選択し、 <u>工夫した</u> 資料を作成することができる。	・自分の発表にとって、必要な情報を厳選して模造紙に工夫してまとめている。
レ ベ ル 2	自ら集めた情報を目的に合わせて取捨選択し、資料を作成することができる。	・自分の発表にとって、必要な情報を模造紙にまとめている。
レ ベ ル 1	自ら集めた情報を取捨選択せずに、資料を作成する。	・自分の発表にとって、必要な情報かを考えずに模造紙にまとめている。

(5) 児童の自己評価（模造紙の完成後） ☒ Check

学習のふり返し	◎ ○ △
発表に使うための模造紙をポイントに気をつけて工夫して書くことができた。	
理由	

7. 授業の改善の工夫 Action

(1) 個人への手立て

評価の合致度	教材	場所	形態	時間	その他
教師の評価が高く 児童の評価が低い	当該児童から不十分だと思っている部分を聞き取り、その部分について教師が適切な評価を直接伝える。				
教師の評価が低い 児童の評価が高い	教師が当該児童へ、良い点を認めながら、改善すべき点に注目させ、まだ十分に伸び代がある部分を直接伝える。				
教師の評価が低い 児童の評価が低い	取り組み方の提示物を新たに作って貼る。	教師の近くに配置する。	スモールステップでできるようなものにする。		成功体験を与える。

(2) 授業の改善案

教師と児童の評価	教材	場所	形態	時間	その他
レベル3が多かった	○	○	○	○	
レベル2が多かった (レベル3に近づけるために)	より丁寧に説明する。	○	グループやペアでの活動を取り入れる。	相談タイムやアドバイスタ임을設定する。	ねらいを十分に達成している状態を授業中に具体的に示す。
レベル1が多かった (レベルアップのために)	より具体的に簡単なものにする。取り組み方の提示物を新たに作って貼る。	教師が見取りやすいように、児童が自席から離れなくてもいい状態にする。	スモールステップでできるようなものにする。 1つ1つの活動を全員でゆっくり行う。	1時間時数を増やす。	